

## 第 12 回定時社員総会議事録

一般社団法人日本音響家協会は 2015 年 5 月 26 日 13 時 30 分から、石川県金沢市北安江 3-2-20 金沢勤労者プラザにおいて定時社員総会を開催した。

議決権のある社員総数 401 名  
出席社員数（委任状によるものを含む） 226 名

以上のとおり社員の出席があったので、定款の規定により、会長（代表理事）八板富榮は議長席につき、本総会は適法に成立したので開会する旨を告げ議事に入った。

### 第一号議案 2014 年度事業報告の承認に関する件

議長は 2014 年度の事業報告書を提示し、これを各担当者が説明を行い、質疑応答の後に承認を求めたところ、満場異議なく承認可決された。

### 第二号議案 2014 年度決算の承認に関する件

議長は 2014 年度会計報告書を提示し、会計執行主席理事が計算内容の説明をし、監事が監査報告を行い、質疑応答の後に承認を求めたところ、満場異議なく承認可決された。

### 第三号議案 2015 年度事業計画に関する件

議長は 2015 年度事業計画案を提示し、これを各担当者が説明をし、承認を求めたところ、満場異議なく可決決定した。

### 第四号議案 2015 年度予算に関する件

議長は 2015 年度予算案を提示し、これを会計執行主席理事が説明し、承認を求めたところ、満場異議なく可決決定した。

議長は、以上をもって本日の議事を終了した旨を述べ、14 時 45 分に閉会した。

以上の決議を明確にするため、この議事録を作成し、議長及び出席理事全員がこれに記名押印する。

2015 年 5 月 26 日

一般社団法人日本音響家協会

議長理事 八 板 富 榮 印

理 事 網 野 岳 俊 印

理 事 糸日谷 智 孝 印

理	事	木	枝	義	雄	印
理	事	高	崎	利	成	印
理	事	高	橋	裕	道	印
理	事	鷹	栖	了		印
理	事	竹	部	健	太	印
理	事	坪	田	栄	蔵	印
理	事	丹	羽	功		印
理	事	深	尾	康	史	印
監	事	三	好	直	樹	印

# 添付資料-1- 2014 年度事業報告

(敬称略)

## ◆本部事業

### 1、事業委員会

- ①2014年5月19日～20日、音響家技能認定講座・ベーシックコースを札幌にて開催。北海道支部の共催。
- ②2014年8月25～26日、NHK大阪ホール・リハーサル室にて、音響家技能認定講座・ベーシックコースを開催。西日本支部の共催、全国公立文化施設協会近畿支部の後援、NHK大阪ホールのご協力。
- ③2014年11月11日～12日、国立能楽堂大講義室にて音響家技能認定講座・ベーシックコースを開催。東日本支部の共催。
- ④2015年1月23日、国立能楽堂大講義室にて音のゼミナール2015・新春スペシャル「Voice/Vocal 大研究」を開催。小川哲生 [オペラ歌手]、昆布佳久 [録音エンジニア]、高木聡 [映像作家]、高橋義照 [映画録音技師]、増旭 [サウンドシステムチューナー]、宮本聖二 [元アナウンサー/テレビプロデューサー]、八板賢二郎 [劇場音響技術者]。協同組合 日本映画・テレビ録音協会、国立音楽大学、エルシー電機株式会社の協力。
- ⑤2015年2月3日、兵庫県立芸術文化センター・中ホールにて音響家技能認定講座・ビギナーズコースを開催。西日本支部の共催、全国公立文化施設協会近畿支部の後援、兵庫県立芸術文化センターの協力。
- ⑥2015年2月6日、神奈川県川崎市にあるNTTアドバンステクノロジー株式会社内においてNTTアドバンステクノロジー株式会社が開催したNTT音響新技術ワークショップを共催。NTTメディアインテリジェンス研究所が協力。
- ⑦2015年2月17日、東京・ゲートウェイスタジオ高田馬場3号店にて音響家技能認定講座・オペレータコースを実施。東日本支部の共催、オタリテック株式会社の機材協力。

### 2、優良ホール認定

2014年11月10日認定

- ・NHK大阪ホール（大阪府）
- ・阿倍野区民ホール（大阪府）

2015年4月10日認定

- ・加古川ウェルネスパーク・アラベスクホール（兵庫県）

### 3、日本音響家協会賞

2014年受賞者 浅原雄二

### 4、出版委員会

機関誌 サウンドA&T を4回発行

## ◆支部事業

### 北海道支部

- ①2014年5月19日、音響家技能認定講座ベーシックコース共催。
- ②2014年7月23日、暑気払いビアパーティーを開催。
- ③2014年12月3日、札幌コンベンションセンターのH S B A機器展会場にて、8の字巻コンテスト北海道地区大会を開催。
- ④機関誌サウンド A&T・81号の特集記事「我々の接遇について改めて考える」を企画編集。

### 東日本支部

- ①6月13日、東京・ゲートウェイスタジオ高田馬場3号店にて「小型スピーカー試聴会」を実施。出展企業は、松田通商株式会社、ボーズ株式会社、ヒビノインターサウンド株式会社、オタリテック株式会社、ヒビノ株式会社、ベストテックオーディオ株式会社、ATL株式会社、ヤマハ株式会社、コモドマッティナー株式会社、TCグループジャパン株式会社、グラフィカ株式会社、エヌエスイー株式会社、ヤマハ株式会社。
- ②10月9日、新宿区牛込笹塚区民ホールにて「スピーカーシステムデザインセミナー」を開催。講師は増旭。
- ③2014年12月5日、埼玉県戸田市にあるケーブル工場・山陽電工株式会社戸田工場の見学会を実施。
- ④2015年3月6日、国立音楽大学・新1号館オーケストラスタジオにて「楽器を知ろう」マリンバ編を開催。講師は新谷祥子。
- ⑤2015年3月24日、閉館する津田ホールの見学会を実施。
- ⑥機関誌サウンド A&T・80号の特集記事「スピーカーチューニング」を企画編集。

### 北陸支部

- ①5月13日、金沢市民芸術村・パフォーミングスクエアにて第1回音響セミナー「スピーカーシステムのチューニング」を開催。講師は増旭。
- ②12月3日、金沢市民芸術村・パフォーミングスクエアにて第2回音響セミナー「Smart ワークショップ」を開催。講師は音響特機株式会社の鈴木 淳一。
- ③2015年2月25～26日、「ホールを訪ねる 美濃・飛騨路」を開催。飛騨市文化交流センターと可児市創造文化ホールを訪問。
- ④支部会員情報紙「小音響かわらばん」6回発行。
- ⑤機関誌サウンド A&T・79号の特集記事「音響家（舞台関係者）の目線で見るとホール・劇場～北陸編～」の企画編集。

### 中部支部

- ①2014年10月16日、春日井市民会館の見学会と懇親会を実施。
- ②2015年1月22日、日本特殊陶業市民会館ビレッジホールにてプロ音響機器フェア in NAGOYA 2015を開催。出展社はATL、オタリテック、TCグループジャパン、ヒビノ、ベストテックオーディオ、ボッシュセキュリティーシステムズ、ボーズ、ライブギア、ヤマハ、デジコム、ローランド。
- ③2015年1月22日、プロ音響機器フェア会場にて、8の字巻コンテスト中部地

区大会を開催。

- ④2015年2月10日、名古屋市音楽プラザ1・2控室にて音響サロン「ネットワーク伝送セミナー」を開催。
- ⑤2015年2月27日、名古屋広小路ヤマハホールにて第12回邦楽セミナー「津軽三味線」の実施。講師は山田隆、内藤真次、犬塚裕道。エーアンドブイ、ジャトー、ヤマハサウンドシステム、ローランドの協賛。ヤマハミュージックリテイリング名古屋店、ザイアーズの協力。
- ⑥機関誌サウンドA&T・78号の特集記事「今、花火の世界は?」を企画編集。

## 西日本支部

- ①4月30日、MBS毎日放送新館見学会を実施。
- ②7月17日、滋賀県立芸術劇場（びわ湖ホール）にてワーグナー『ラインの黄金』をテーマに「オペラ・サウンドデザイン・セミナー」を開催。講師は押谷 征仁、滋賀県立芸術劇場の協力。
- ③8月25～26日、NHK大阪ホール・リハーサル室にて開催の音響家技能認定講座・ベーシックコースを共催。
- ④12月18日、YDACC(Yamaha Digital Audio Creative Center)OSAKAのNuage室にてダウンミキシングセミナーを開催。
- ⑤2015年2月3日、兵庫県立芸術文化センター・阪急中ホールにて開催の音響家技能認定講座・ビギナーズコースを共催。
- ⑥2015年2月12日、長崎県とぎつカナリーホール・リハーサル室にて九州ブロックが音響セミナー「音塾」を開催。
- ⑦2015年3月5～6日、滋賀県立芸術劇場びわ湖ホールのオペラ「オテロ」ゲネプロ見学会を実施。

## 添付資料-2- 2015年度事業計画

### ◆本部事業計画

#### 1、事業委員会

- ①サウンドシステムチューナを再開するなどして、音響家技能認定講座の全コースを開催
- ②1級サウンドシステムチューナの検定試験実施
- ③音のゼミナール「三味線大研究」を実施
- ④ネットワーク・デジタル伝送に関するセミナーを実施
- ⑤音響測定ソフトに関するセミナーを各地で実施
- ⑥8の字巻コンテスト全国大会（7月9日）

#### 2、出版委員会

- ①サウンドA&Tを4号発行
- ②投稿欄の「耳袋」を充実する。
- ③非会員からの投稿も可能にして、採用者に機関誌を贈呈する。
- ④支部が担当する特集については、テーマを明確にして編集していただいた

い。

### 3、優良ホール選定

前期、後期に分けて認定作業を実施。

### 4、日本音響家協会賞

選定審査、贈賞式、受賞者記念講演を実施

### 5、ライブ&イベント産業展 出展（7月8日～10日）

## ◆支部事業計画

### 北海道支部

- ①札幌サンプラザホールのロビーにてオペラ勉強会を開催。講師は中津邦彦（市民室内歌劇場 演出家）、2015年4月23日に実施済み。
- ②名寄市民文化センター「EN-RAY HALL」の施設見学及び地元コミュニティFM局との交流会（7月上旬を予定）
- ③札幌コンサートホールキタラの見学会（8月後半を予定）
- ④音響家技能認定講座・ビギナーズコースの実施（2016年1～2月）
- ⑤毎年恒例のビアパーティーを7月に開催（②と併催することもあり）

### 東日本支部

- ①東京芸術劇場見学会（6月23日）
- ②8の字巻コンテスト地区大会（7月9日）
- ③ライブ&イベント産業展 出展（7月8日～10日）
- ④チューニングセミナー（10月）
- ⑤ハイレゾリューション音源セミナー（2015年1月）
- ⑥音響家技能認定講座（ベーシックコースもしくはビギナーズコース）（2016年2月）
- ⑦楽器を知ろう（2016年3月）
- ⑧機関誌・85号の特集記事の企画編集を担当
- ⑨支部会員宛メールマガジン発行

### 北陸支部

- ①金沢市歌劇座大練習室にて第1回音響セミナー「ジャズ録音の魅力～なかなか聞けない録音秘話」を開催、講師は及川公生、石川県公立文化施設協議会の後援。5月12日に実施済み。
- ②金沢歌劇座大練習室にて第2回全日本マイクケーブル8の字巻コンテスト北陸地区大会（予選）。5月12日に実施済み。
- ③第2回音響セミナー
- ④「ホールを訪ねる」及び第3回音響セミナー
- ⑤機関誌・84号の特集記事の企画編集を担当
- ⑥支部会員情報紙「小音響かわらばん」を6回発行

## 中部支部

- ①プロ音響機器フェア in NAGOYA 2016 (2月15日～16日)
- ②第13回邦楽セミナー (2016年1月)
- ③音響セミナー「設備音響」
- ④音響サロン
- ⑤施設見学会「可児市文化創造センターのデジタルネットワーク設備見学会」
- ⑥納涼ビアパーティー
- ⑦機関誌・83号の特集記事の企画編集を担当

## 西日本支部

- ①8の字巻きコンテスト 西日本地区大会を大阪市中央区民センターで開催。5月12日に実施済み。
- ②音響家技能認定講座・ベーシックコース大阪開催 (NHK 大阪リハーサル室)、8月24日～25日
- ③JAZZ 音響塾
- ④音塾「Smaart & SIMセミナー」
- ⑤デジタル卓のセミナー
- ⑥オペラセミナー (びわ湖ホール)
- ⑦音響家技能認定講座・ビギナーズコース兵庫開催 (兵庫県立芸術文化センター 阪急中ホール)
- ⑧九州ブロック主催の音響セミナー
- ⑨機関誌・82号の特集記事の企画編集を担当

# 決 算 報 告 書

第 12 期

自 2014年 4月 1日

至 2015年 3月31日

一般社団法人 日本音響家協会

東京都府中市住吉町2-18-1-412

## 貸借対照表

2015年 3月31日現在

(単位：円)

資 産 の 部		負 債 の 部	
科 目	金 額	科 目	金 額
<b>【流動資産】</b>		<b>【流動負債】</b>	
(現金・預金)		未 払 金	591,534
現 金	62,500	前受 会費	30,000
普通 預金	8,760,946	預 り 金	75,432
現金・預金 計	8,823,446	流動負債 計	696,966
(その他流動資産)		負債の部合計	696,966
前払 費用	24,080	<b>資 本 の 部</b>	
その他流動資産 計	24,080	<b>【基金】</b>	
流動資産合計	8,847,526	基 金	3,000,000
<b>【固定資産】</b>		基金 計	3,000,000
(有形固定資産)		<b>【剰余金】</b>	
工具器具備品	15,000	損失てん補準備金	730,000
有形固定資産 計	15,000	当期末処分剰余金	4,542,025
(無形固定資産)		(うち当期剰余金)	1,517,245
商標権	106,465	剰余金 計	5,272,025
無形固定資産 計	106,465	資本の部合計	8,272,025
固定資産合計	121,465		
資産の部合計	8,968,991	負債・資本の部合計	8,968,991

有形固定資産の減価償却累計	0 受取手形割引高	0
手形裏書譲渡高	0 保証債務	0

## 損 益 計 算 書

自 2014年 4月 1日  
至 2015年 3月31日

(単位：円)

### 《経常損益の部》

[営業損益の部]

【収入】

正会員年会費	3,154,065
準会員年会費	365,000
入会金	15,000
雑誌広告収入	2,555,374
事業委員会収入	2,040,820
印税収入	348,574
セミナー等収入	1,574,520

収入計

10,053,353

【売上原価】

期首商品・製品棚卸高	0
当期商品仕入高	0
合計	0
期末商品・製品棚卸高	0

売上原価計

0

売上総利益

10,053,353

【事業経費】

事業経費計	8,852,994
-------	-----------

事業剰余金

1,200,359

[事業外損益の部]

【事業外収益】

受取利息	1,372
雑収入	315,514
事業外収益計	316,886

【事業外費用】

事業外費用計	0
--------	---

経営剰余金

1,517,245

### 《特別損益の部》

【特別利益】

特別利益計	0
-------	---

【特別損失】

特別損失計	0
-------	---

税引前当期剰余金

1,517,245

当期剰余金

1,517,245

前期繰越剰余金

3,024,780

当期末処分剰余金

4,542,025

## 販売費及び一般管理費内訳書

自 2014年 4月 1日

至 2015年 3月31日

(単位：円)

---

雑誌出版費	1,279,038
事業委員会事業費	351,509
講演料・謝金	893,971
通信発送費	836,472
旅費交通費	1,622,106
広告宣伝費	150,266
接待交際費	326,283
会議費	2,119,571
事務用消耗品費	230,904
備品消耗品費	714,332
新聞図書費	38,975
租税公課	35,000
諸会費	51,600
支払手数料	127,916
減価償却費	4,296
商標権減価償却	16,024
雑費	54,731
事業経費計	<u>8,852,994</u>

# 利益処分計算書

(単位：円)

【当期未処分利益金】		<u>4,542,025</u>
【利益処分数額】		
損失てん補準備金	370,000	
【次期繰越利益】		<u>4,172,025</u>

上記の通り報告いたします。

平成27年5月26日

代表理事 八板 富榮

代表理事 深尾 康史

代表理事 高崎 利成

代表理事 丹羽 功

監査の結果、いずれも適法かつ妥当であることを認めます。

平成27年5月26日

監査役 三好 直樹

## 2015年度予算案

## 収入

内訳	予算 A	前年度決算 B	増減額 A-B	備考
正会員年会費	3,200,000	3,154,065	45,935	
準会員年会費	300,000	365,000	-65,000	
入会金	40,000	15,000	25,000	
雑誌広告収入	2,500,000	2,555,374	-55,374	
事業委員会収入	1,000,000	2,040,820	-1,040,820	
印税収入	300,000	348,574	-48,574	
セミナー等収入	1,250,000	1,574,520	-324,520	
雑収入	1,500	316,886	-315,386	
小計	8,591,500	10,370,239	-1,778,739	
前期繰越	4,172,025	4,542,025	-370,000	
計	12,763,525	14,912,264	-2,148,739	

## 支出

内訳	予算 A	決算 B	増減額 A-B	備考
雑誌出版費	1,500,000	1,279,038	220,962	
事業委員会費	700,000	351,509	348,491	
講演料・謝金	1,000,000	893,971	106,029	
通信運搬費	900,000	836,472	63,528	
旅費交通費	1,800,000	1,622,106	177,894	
広告宣伝費	250,000	150,266	99,734	
接待交際費	330,000	326,283	3,717	
会議費	2,500,000	2,119,571	380,429	
事務消耗品費	250,000	230,904	19,096	
備品消耗品費	750,000	714,332	35,668	
新聞図書費	50,000	38,975	11,025	
公租公課	335,100	35,000	300,100	
諸会費	60,000	51,600	8,400	
支払手数料	150,000	127,916	22,084	
減価償却費	10,000	4,296	5,704	
商標権償却	20,000	16,024	3,976	
雑費	100,000	54,731	45,269	
小計	10,705,100	8,852,994	1,852,106	
予備費	2,058,425			
計	12,763,525			